

大府の施設 介護予防へ無料開放

大府市横根町の高齢者福祉施設「デイパーク大府」は、地域の高齢者向けに、転倒予防やリハビリのため筋力を養うトレーニングマシン六台を置いた。毎日朝から夕方まで無料開放しているが、住民の継続的な利用には至っていない。担当者は「散歩ついでに立ち寄り、介護予防につなげて」と呼び掛けている。

(出口有紀)

デイパーク大府は、マシンを設置。一角を「常設えたり、股関節の開閉を域に開かれた施設を目標型介護予防サロン」として太ももの筋肉を強化して、毎月二回、地。事業費百五十万円は、したりできる。毎日使っている入所者の小杉義一は「参加が少なく、誰でも高齢者向けマシンは、のふらつきが緩和した。サロンの来客は増え、軽く話ができるのも続ける支えになる」と笑顔で運動を続ける。

ただ、周知不足から、住民の定期的、恒常的な利用には結び付いていない。塚本鋭裕施設長(金)は「介護施設に入りたくいと思う人にも、施設を知ってもらうきっかけにしたい」と話し、住民に配るチラシも用意している。

「毎日、少しずつ続けられるのがいい」と話す入所者ら＝大府市横根町のデイパーク大府で



サロンは土・日曜、祝日を含め毎日午前八時半～午後六時半に利用できる。初回に施設の作業福祉士らが使い方を説明する。問い合わせはデイパーク大府＝電0562

(43) 780851へ。

平成26年4月23日中日新聞朝刊